

教育モニター 様

この度は、「確かな学力の育成」について、ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

ご承知のとおり、昨年3月に策定しました第2次岐阜県教育ビジョンにおいて「学力向上を核とした小・中学校教育の改善」を重点政策に位置付け、「全ての小・中学校における『指導改善サイクル』の確立」「個に応じたきめ細かな指導の充実」「小学校からの教科専門性向上による教科の授業の充実」などに取り組んでいるところです。本県では、今年度4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果から、基礎的・基本的な知識・技能を子どもたちが確実に身に付けるための指導に、引き続き課題があることが明らかになりました。そのため、授業において、学習の内容を理解できない子がそのまま次の学習に進むことがないように、更にきめ細かな指導の充実を図っていききたいと考えております。

また、読書活動は、子どもたちに豊かな心を育むとともに、国語をはじめ様々な教科の学力の育成と結びつくものであり、読書活動の推進が学力の向上を図る上で大切なことは、ご指摘のとおりであると受け止めております。

今回の全国調査で、「週1回以上、学校の図書室や地域の図書館に行っている」と回答した本県の小学生の割合は32.5%で、全国平均の17.6%を大きく上回りました。一方で、「1日平均30分以上読書をする」と回答した本県の小学生の割合は36.1%で、全国平均の37.7%を若干下回る結果となりました。子どもたち一人一人の読書時間を確保することが必要であると捉えています。

県教育委員会では、「岐阜県子ども読書活動推進計画（第三次）」に基づき、学校と公立図書館が連携してブックトークや読み聞かせなど子どもの読書活動を推進する活動を広めたり、子どもたちの主体的な学習活動が展開できる「情報資料センター」としての学校図書館の整備・活用を働きかけたりしているところです。また、昨年度、県内で「学校図書館教育優秀賞」を受賞した小・中学校が87校あり、このような学校の優れた実践を広め、より一層読書活動を充実させ、学力の向上を図っていききたいと考えております。

今回、ご意見いただきましたことを感謝申し上げますとともに、今後ともご支援のほどお願い申し上げます。

平成27年9月14日

岐阜県教育委員会

学校支援課長 吉田 梓
社会教育文化課長 土井 信之